

「Health Bright」の新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に対するウイルス量減少効果を確認

株式会社インフォファームでは、国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学応用生物科学部（共同獣医学科 中川敬介准教授）および国立大学法人群馬大学大学院医学系研究科（生体防御学講座 神谷亘教授）との共同研究により、抗菌抗ウイルスコーティング「Health Bright」の新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に対するウイルス量減少効果を確認しました。

Health Brightは、空気中の酸素と水に反応し、強力な酸化力をもつOHラジカルを生成させ、細菌やウイルス、化学物質過敏症の原因物質となるVOCの抑制などさまざまな効果を確認してきました。

現在、世界的に感染が拡大する新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）については新たなウイルスであることから、改めて岐阜大学と群馬大学と共に試験を行った結果、Health Brightによるウイルス量減少効果があることを確認いたしました。なお、今回の確認は密閉した試験空間で実施したものであり、実使用空間における確認ではありません。

今後も、細菌やウイルスなどさまざまな衛生リスクが発生する可能性があります。インフォファームは、すべての人が安心して過ごせる環境づくりを目指してまいります。

【Health Brightの新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に対するウイルス量減少効果 確認内容】

■試験方法

新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)を対象に、Health Brightと陰性対照(培養液)による比較実験を実施

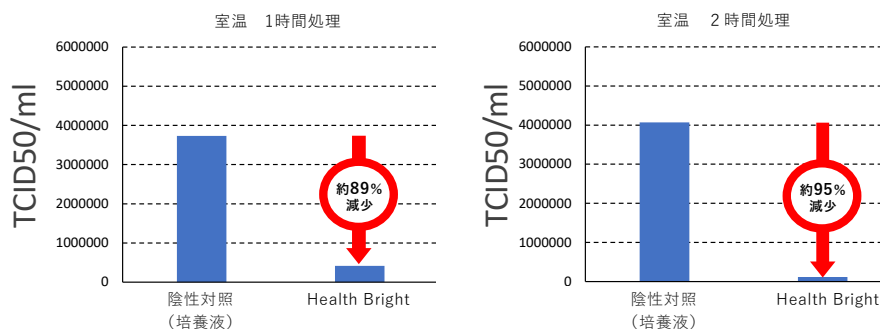
■結果

新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)に対し、
室温1時間で約89%、2時間で約95%のウイルス感染価が減少

■データ

- ・実施機関：岐阜大学（実施場所：群馬大学神谷研究室）
- ・実施時期：2021年8月
- ・対象：新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)
- ・方法：チューブ内にて、ウイルス液とHealth Brightを所定時間、室温にて感作させ、TCID50によりウイルス感染価を測定した。

・結果：



以上

【ご参考：用語説明】

■ ウイルス感染価

試料中に含まれる感染性をもつウイルス量のこと。定量法には実験動物や培養細胞などを用いた様々な手法があり、定量法によって、一般的には「TCID50（50%組織培養感染量）」「ID50（50%感染量）」などの単位で表します。

■ TCID50

TCID50とは、「Tissue Culture Infectious Dose 50」の略で、50%組織培養感染量を示し、対象となるウイルスの感染価を測定する際に用いられる測定方法の1つである。例えば、1 TCID50/mLとは被験ウイルス液1mL中に、50%の組織培養に感染するウイルス量（感染価）が存在することを表します。